

【AIストリーム：地域住民に“住みやすく”来訪者が“滞在して心地よい”街づくりを目指して】

観光・防災 統合情報管理システム

地域の観光・防災情報を、自治体が独自に構築した監視体制により、リアルタイムに収集・管理。
LINEを活用して、地域住民・来訪者への一斉情報配信を実現

1. 地域課題と目指す姿

☆住みやすい街：

日常生活に不便がなく、安全かつ快適に過ごせる環境が整った街
＞交通アクセス ＞治安 ＞災害への強さ

オーバーツーリズム

インバウンドの急増



駐車場の不足



☆旅行で訪れて“心地よい”“また来たくなる”と感じる観光地

ストレスのなさ「独自の魅力」「人の温かさ」の3つの要素が揃っている
＞治安 ＞スムーズな移動 ＞清潔な街並み ＞判りやすい案内

局地的大規模災害の増加

大規模冠水



ゲリラ豪雨



移動手段の途絶



路面陥没



- ◇局地的大規模災害（豪雨・洪水・地盤崩落等）増加に伴い、従来の国主導の監視システムでは、市町村レベルでの状況集約のリアルタイム性に欠ける
＞自治体の状況に合わせた、きめ細やかな独自の監視体制の構築が必要
- ◇地域向け情報発信では、外来者（旅行客・インバウンド）にとって判りにくい情報も多い
＞外来者の理解を想定しての情報発信（図・絵の活用、多言語化等）と共に、
外来者が必要最低限の情報を自力で取得できる発信方法の導入

2. 対応策：AIストリーム

☆地域中小企業で導入実績の有るシステム・製品等を組み合わせ、多様なニーズに沿ったセミオーダーメイドのシステムをリーズナブルなコストでご提供

☆多種多彩な計測デバイス・プロダクトを統合管理する防災・減災向け情報統合管理システムを構築

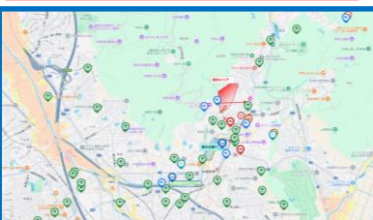
☆観光事業向け情報（おもてなし）の観点を加えることで、外来者（旅行客・インバウンド）にやさしい情報配信の実現

☆観光＋地域防災情報の組合せ配信により、**地域観光協会・2次交通業者等地域企業**に有益な情報配信

平常モード：観光情報マップ



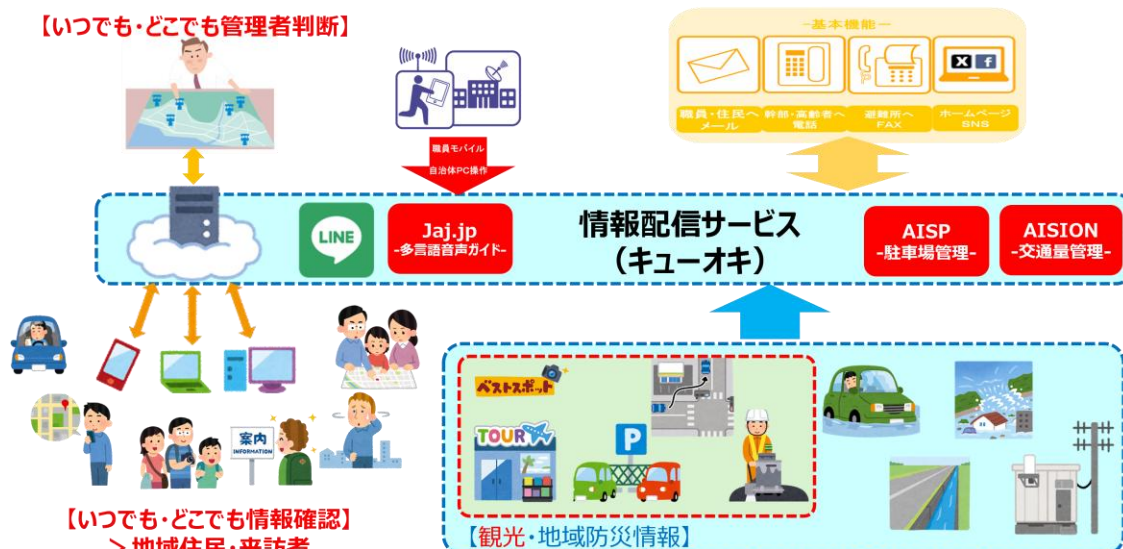
災害モード：地域防災マップ



災害モード：多言語対応



「AIストリーム」※（AI：area intelligent）



独自監視体制



AIスマートパーキングシステム



3. システム整備に向けて：観光系補助金（国土交通省_観光庁）の活用

外客受入室・令和8年度予算全体像

※観光庁 令和8年度説明会資料より抜粋



- 細切れとなっていた観光地における受入環境整備に係るハード整備補助事業を一本化

令和7年度（補正予算含む）

令和8年度（補正予算含む）

持続可能な観光推進モデル事業

- ①【補助事業】地域における持続可能な観光計画策定補助
- ②【調査事業】持続可能な観光推進モデル事業

地域における受入環境整備促進事業

- ①【補助事業】オーバーツーリズム対策を含めたハード整備補助
- ②【調査事業】受入環境整備に向けた調査費用

オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業

- 【補助事業】オーバーツーリズム対策のための補助

インバウンド受入環境整備高度化事業

- ①【補助事業】観光地における周遊促進・消費拡大に資するハード整備
- ②【調査事業】受入環境整備に向けた調査費用

地方誘客促進に向けたインバウンド安心・安全対策事業

- ①【補助事業】観光危機管理計画の策定・改定補助
- ②【補助事業】観光施設等の避難所機能の強化・多言語対応機能の強化
- ③【補助事業】医療機関の訪日外国人患者受入機能の強化

多様な食習慣や宗教的慣習を持つ訪日外国人旅行者受入促進モデル事業

- 【調査事業】モデル実証

後継

地域一体となった持続可能な観光地域づくりの推進

- ①【調査事業】地域一体となった持続可能な観光地経営の推進
- ②【調査事業】受入環境整備に向けた調査費用

統合
拡充

オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の受入環境整備の促進

- ①【補助事業】各地域・事業者等への支援
※R7「地域における受入環境整備促進事業」①、「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」①、「インバウンド受入環境整備高度化事業」①の組み合わせ
- ②【調査事業】オーバーツーリズム対策をはじめとする地域の受入環境整備に向けた調査費用（マナー、交通等を含む）

拡充

地方誘客促進に向けたインバウンド安心・安全対策事業

- ①【補助事業】観光危機管理計画の策定・改定補助
- ②【補助事業】観光施設等の避難所機能の強化・多言語対応機能の強化
- ③【調査事業】訪日外国人旅行者に向けた医療保険加入促進
- ④【補助事業】医療機関の訪日外国人患者受入機能の強化

拡充

多様な食習慣や宗教的慣習を持つ訪日外国人旅行者受入促進モデル事業

- 【調査事業】モデル実証

オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の受入環境整備の促進

令和8年度予算額
10,000百万円



事業目的・背景・課題

- 一部の地域・時間帯における観光客の過度な集中やマナー違反問題など、我が国における観光課題が顕在化している状況。
- インバウンドの更なる受入れに対する国民の不安を払拭し、観光を我が国における「戦略産業」として持続的に発展させていくためには、局所的・短期的な対応が中心となっていたこれまでの対策に加えて、地域の方々の理解の下、中長期的な視点からより実効性のある面的な対策を一層促進していく必要がある。

事業内容

①補助事業

- 地域における観光施策のとりまとめ・旗振り役である地方公共団体、観光地域づくり法人（DMO）が中心となり、各地域が現在直面している課題／今後抱える課題に地域一体で行う様々な取組※1を面的・総合的に支援する。また、民間事業者をはじめ、個別の受入環境整備に係る取組についても、きめ細やかな支援を行う。
※1 ハード整備の他、調査・実証に係る取組を含む
- 特に、ソフト的・対症療法的な対策のみならず、中長期的な視点から安定的・持続的に支援できるよう、複数年にわたる取組についても支援することとする。また、検討段階から観光庁・地方運輸局が伴走支援を行い、地域の方々の理解の下、より実効性のある対策の加速化を図っていく。

②調査事業

- 我が国における観光課題の情報を収集し、生じている地域・エリアに提供することで、スピード感をもった対策の造成を支援するほか、多様な媒体を通じたマナー啓発、手ぶら観光サービスの普及・浸透に向けた調査等を実施する。

事業スキーム

- ・事業形態：①間接補助事業（補助率 2 / 3（補助上限額：2 億円）、1 / 2（補助上限額：0. 5 億円）、②調査事業等
- ・補助対象：①国→民間事業者→地方公共団体、登録DMO、民間事業者等 ②民間事業者等 ・事業期間：令和8年度～

担当課室：観光庁 参事官（外客受入）

事業イメージ

